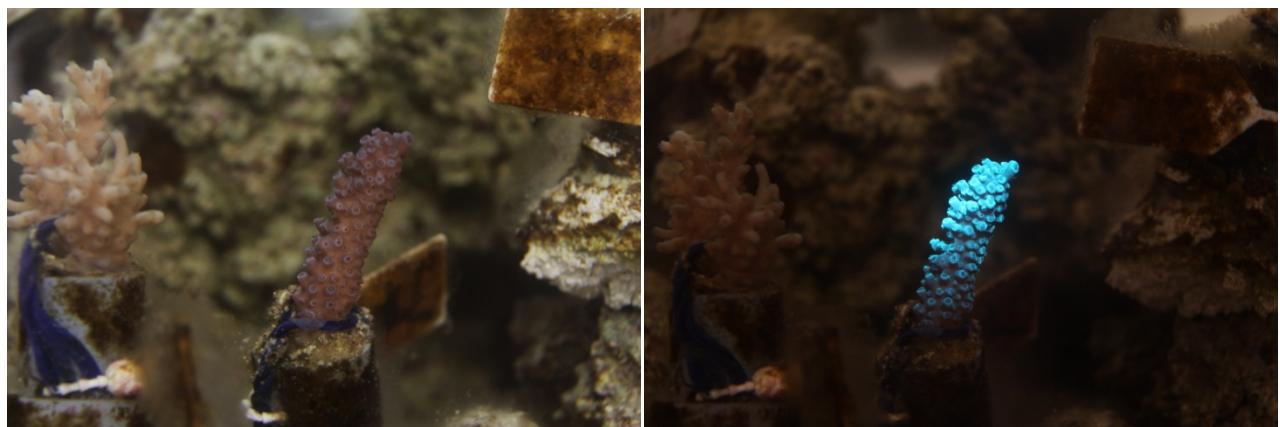


サンゴ実験学習プログラム内容 八重山漁協サンゴ養殖研究班

時間配分	内 容	教 材
5分	(導入) 自己紹介 キーワード：海人がサンゴを増やす？	
5分（10分）	(実験への誘導) 質問：死んでいるサンゴはどれかな？ 行動：水槽内サンゴの観察と質問への答え ↓ 実験への誘導	サンゴ水槽 生きたサンゴ 骨格だけのサンゴ
5分（15分）	(実 験) 骨格標本と生きているサンゴにブラックライトを照射する。 ↓ その結果、生きているサンゴだけ光る。	ブラックライト ※ 1
5分（20分）	(実験の確認) 生きているサンゴと骨格だけのサンゴをU S Bスコープで拡大して見てみる。 ↓ 確認してみると、生きているサンゴにはポリプがあり触手が動いている。	スコープ モニター ※ 2
5分（25分）	(実験結果の解説) サンゴは硬い骨を作り、その中で生きている。 光を放つのは、生きたサンゴが持つ蛍光たんぱく質。	
15分(40分)	(サンゴの観察) 3 グループ毎に生きたサンゴを用意してグループで観察。 1：見る。 2：触れる。 3：匂いを嗅ぐ。 感じた事や気付いた事をノートに記入。	バケツ 生きたサンゴ (3つ)
5分（45分）	(まとめ) キーワード：海人がサンゴを増やす？ 答え：今、サンゴがどんどん減ってきている。そしてそれは魚を減らしてしまっている。	画像 1. 養殖風景 2. 白化 3. オニヒトデ
5分（50分）	(質問) 実験や観察での質問。	

※ 1



※ 2



わくわくサンゴ石垣島プロジェクト